

夢 展 望

第17期 中間株主通信

平成25年10月1日～平成26年3月31日



www.dreamv.co.jp

◆ Top Message



代表取締役社長
岡 隆宏

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第17期(平成25年10月1日から平成26年3月31日まで)中間株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

【今期上期の業績について】

今期上期の当社業績は、大変厳しいものとなりました。継続する円安による商品原価の高騰に加え低価格レディース業界の不調やトレンドの変化も重なり、衣料品販売が予想外の苦戦を強いられることとなり、誠に不本意ながら、売上高・利益ともに予想を下回る結果となりました。

下期におきましても、主力の衣料品販売事業におきましては、引き続き厳しい市場環境下での競争を強いられることが予想されますが、マルチブランド戦略とオムニチャネル戦略により、売上の回復と新たな成長の基盤の形成を目指して参ります。

【マルチブランド戦略】

ファッションビジネスにおいては、トレンドの変化に対応していくことが非常に重要な要素となります。変化するトレンドの中、リスクを回避しつつ、ビジネスチャンスを最大限に引き出すためには、既存の成功したブランドに固執することなく、ブランドの刷新を継続的に進める必要があります。

現在、当社ではギャル向けブランドの成功による企業の成長ステージから、より多様なファッションニーズに対応できるアパレル企業への大

きな転換を図り、新たな成長を遂げるべく、ブランドの刷新を進めております。

下期におきましては、既存顧客層に対し、低迷しているギャル向けブランドを刷新する新たなブランドをリリースする予定です。また、既存顧客層向けのブランドを補完する新たなカテゴリー商品もリリースしていく予定です。

【オムニチャネル戦略】

当社はこれまで、衣料品販売事業において、一部を除いて、インターネット通信販売だけに限定した販売チャネルを活用して参りました。しかし、アパレル企業のインターネット通信販売への進出の拡大、インターネット広告の競争激化など経営環境は日々変化しており、新規顧客獲得コストが高騰しております。そのような経営環境の変化に対応するため、様々な販売チャネルを活用し、チャネル間のシナジー効果を狙うオムニチャネルへのシフトが必要と考えております。

より具体的には、ネットでの購入に抵抗があるお客様に実店舗で購入を頂くことにより当社ブランドに対する信頼を獲得し、お客様のライフスタイルに応じて、実店舗での購入とネットでの購入を使い分けただけのようにチャネルを多様化していきます。このようなオムニチャネル化により、ネット広告ではアプローチできない新たな顧客の獲得を進めたいと考えております。当社においては、実店舗は販売のチャネルであると同時に、ネット販売の顧客開発ツールとしての側面を持ち、ネット広告を補完する新たな顧客創造チャネルと位置付けています。

【非アパレル分野の拡大】

非アパレル部門では、特にバッグとランジェリーの拡大を目指して参りたいと考えております。トレンドや季節的な影響をアパレル商品よりも受けにくくリスクの比較的小さいカテゴリーと言えるため、安定的に売上・利益に貢献できるアイテムとして拡大して参ります。

また、美容健康商品の分野も、円安や急激なトレンドの変化といった影響を受けることが少なく、適法性と採算性を確保できれば非常に安定した収益が見込めます。この分野の商品も急ピッチで自社ブランドの企画開発を進めて参る所存であります。

◆ Topics

期間限定店舗を続々オープン

今期4月より、オムニチャネルの実験店舗として、期間限定店舗を展開しております。

大阪のSHIBUYA109ABENOでは、夢展望の主力3ブランドの商品を取り扱う初の実店舗(写真)をオープンし、お客様よりご好評をいただきました。



今後も、ネット販売を補完・強化する観点から実店舗を活用したオムニチャネルによりブランド訴求を行うて参ります。

株式会社徳間書店と提携し、ファッション誌「LARME」とのコラボブランド「mon Lily(モンリリイ)」をリリース

株式会社徳間書店が発行する、若い女性から支持を集めている「LARME(ラルム)」とのコラボレーションにより、新ブランド「mon Lily(モンリリイ)」をリリースいたしました。

『LARME』の世界観を表現するために素材からディテールに至るまでこだわり抜いた商品を提供しています。

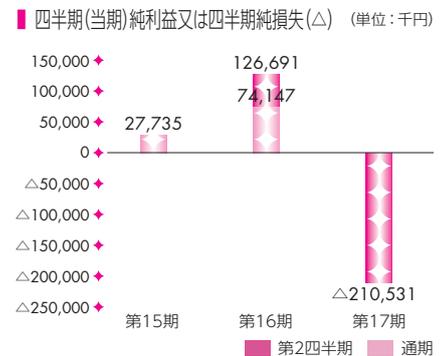
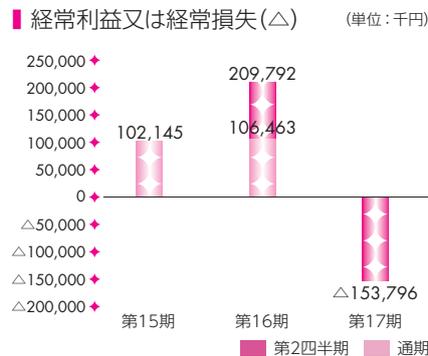
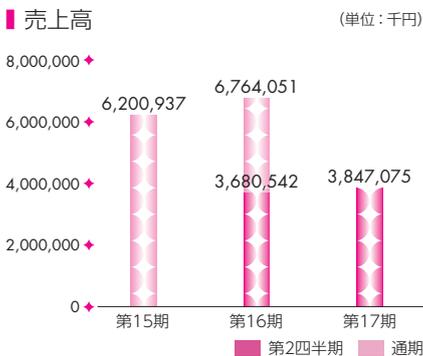
3月には、渋谷PARCOにおいて、期間限定店舗をオープンし、ご好評をいただきました。



◆ Financial Data

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,847百万円(前年同四半期比4.5%増)、営業損失は130百万円(前年同四半期は営業利益227百万円)、経常損失は153百万円(前年同四半期は経常利益209百万円)、四半期純損失は210百万円(前年同四半期は四半期純利益126百万円)となりました。

連結決算ハイライト



◆ Corporate Data / Stock Information

■ 会社の概要

社名 夢展望株式会社
DREAM VISION CO., LTD.
設立 平成10年5月
資本金 592百万円
本社 大阪府池田市石橋三丁目2番1号
従業員数 連結: 215名 単体: 129名

■ 役員

役名	氏名
代表取締役社長	岡 隆 宏
専務取締役	田 中 啓 晴
常務取締役	村 上 久 司
取締役	今 井 隆 一
取締役	阪 田 貴 郁
常勤監査役	吉 川 良 文
監査役	石 原 康 成
監査役	大 鹿 博 文

■ 株式の状況

発行可能株式総数 3,936,000株
発行済株式の総数 1,404,000株
株主数 1,327名

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
岡 隆宏	536	38.18
西 蘭 仁	111	7.95
田中 啓晴	72	5.13
金子 好之	59	4.20
岡 美香	36	2.56
SMBC日興証券株式会社	18	1.30
岡 諒一郎	18	1.28
岡 駿志郎	18	1.28
ジャフコV2共有投資事業有限責任組合	13	0.97
野村證券株式会社	12	0.86

株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会 毎年12月開催
基準日 定時株主総会 毎年9月30日
期末配当金 毎年9月30日
中間配当金 毎年3月31日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法 当社のホームページに掲載いたします。
<<http://www.dreamv.co.jp>>
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞にて掲載いたします。
上場証券取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
インターネットホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>